

最終報告会 東北公益文科大学 インターンシップ

チームA3

土屋雄大

畠山陽光

渡邊篤

千葉翔太

長谷川俊輔

課題

▶ 大学生がどのような形で


① 災害時において、どのような役割を担えるか

② 平常時において、どのような防災活動を行えるか

大学生が災害時にできること

- ▶ 瓦礫や土砂撤去などのボランティア活動
- ▶ 避難所での運営のお手伝い（炊き出し、会場設備など）
- ▶ 避難誘導や救助

▶ 実際には自分のことで精一杯



▶ 平常時において、防災意識を高める活動が必要である



▶ 世代別の意見を意識した
ワークショップ

世代別の区分

▶ 大学生

▶ 社会人

▶ 高齢者（足などに不自由がある方など）

ワークショップの流れ

①オリエンテーション（ワークショップの趣旨説明）



②被災者（畠山陽光）による、実際に被害に遭った当時の語り部



③世代別グループに分かれて自己紹介、話し合い



④全体で意見共有、問題解決の話し合い



⑤全体総括

ワークショップの形式

▶付箋を活用したKJ法

理由

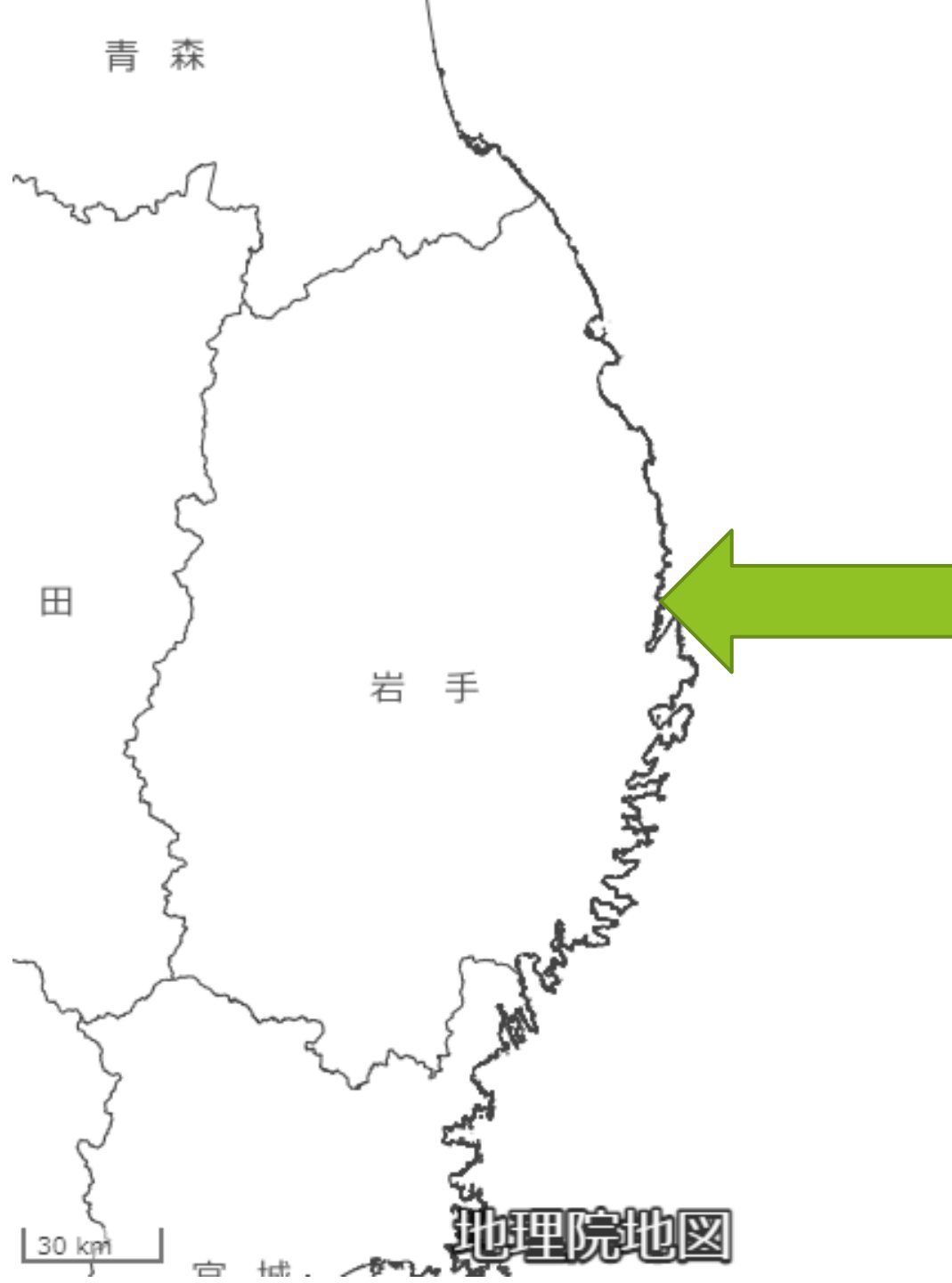
- ・ アイデアや意見を出しやすい
- ・ 可視化することで、解決策や問題点の関係性を見つけられる
- ・ まとめやすい

岩手県宮古市田老

岩手県宮古市田老

- ・ 津波太郎、津波防災の町
- ・ 巨大防浪堤 = 「万里の長城」





- ・岩手県の沿岸部に属し、宮古市の北部に存在

- ・わかめやウニといった海産物が豊富

- ・田中菓子舗のかりんとう

- ・三王岩

田老と津波

- ▶ 明治29年 明治三陸大津波
- ▶ 昭和8年 昭和三陸大津波
- ▶ 平成23年 東日本大震災

何度も津波の被害に

東日本大震災発生





東日本大震災発生

- ・ 死者、行方不明者

人口：約4400人

死者：181人

行方不明者：43人

→宮古市内最多

万里の長城と呼ばれた防浪堤も崩壊

安全地帯といわれていた場所も津波の被害に

小堀内漁港では波高37.9mを観測

その後の生活

- ・ 比較的高い場所にあった祖父の家に避難
→ 幸い実家も大きな被害はなし
- ・ 街がどうなっているかもわからない、みんなが無事かもわからない不安だらけの生活
- ・ ロウソクを立て、ラップで皿を包んで食事
- ・ 近くの避難所で友人を見つけ安堵

ワークショップの目的

- ▶ 世代別にどんな行動、役割があるのかの意見を共有する
- ▶ その世代別の意見をさらに全体で共有し、要望（助けてほしいこと、アイデアの共有）や意見、質問などを出してもらう

地域への発信

- ▶ SNSを利用
- ▶ 回覧板やチラシ等を利用
- ▶ 地域のお店等で配布に協力していただく

参考文献、資料

- ▶ 東日本大震災 3.11 宮古地方版 郷土の新聞宮古民友社
- ▶ つなみ 田畑ヨシ 株式会社産経新聞出版
- ▶ 東日本大震災による死者及び行方不明者数 宮古市

https://www.city.miyako.iwate.jp/data/open/cnt/3/1514/1/sisyasu_humeisu.pdf?20131225175937

- ▶ 田老 YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=i2W6KUwa8dl&list=LL&index=80>

- ▶ 津波 監視カメラ映像《宮古市 田老字》 YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=v4ylh7W8xNo&list=LL&index=81&t=12s>